



ふくおか【Good👍】農業人100  
 主な農産物／アスパラガス

# 松藤 泰樹さん (31歳) (営農地／柳川市大和町)

## アスパラガスの言いたいことが分かってきた

《就農のきっかけ》

### 何か自分でやってみたい

サラリーマン時代の仕事はおもしろく、やりがいにはありましたが、長時間で不規則な内容でした。だんだんと体力的にきつくなったので、これからの進路を転換したいと考えるようになり、今まで人に使われていたから人に使われない仕事で長く続けられる仕事は何かないだろうかと考えました。そして、もともと自営業に興味がありましたが、実家には兼業ながらも父が米麦を作っている田んぼがあったので、チャンスと思い農業の道に一步踏み出しました。

《これまでの過程》

### 18aのハウスの中でアスパラガスにやさしいまなざしを注ぐ

「農業は初めて、アスパラガスに取り組むのも初めて、最初は何もわからず手探り状態でした。」と語る松藤さん。しかし父の協力や加入したアスパラガス部会の皆さんの応援もあって、これまで大きな失敗はなくやってこれました。そのようにして「育てたアスパラガスが初めて地面から出てきたときはとても感動しました。」と語ってくれました。

また、「アスパラガスは日々生育して毎日違う景色や様子を見せてくれます。人間みたいに「腹減ったとか、暑くてのど乾いたとか、具合が悪い」とか何も言いません。しかし、話はできないけど、今では何となくアスパラガスの言いたいことがわかる気がしてきました。」と語ってくれました。



プロフィール

■家族構成／父、母、本人 ■前職／会社員 ■営農年数／約3年  
 ■耕作(経営)面積／パイプハウス(アスパラガス18a) ■販路／JA共販

《これからの展望》

### 使われる側より使う側へ。

まだまだ自分の農業経営が軌道に乗ったとは実感できていません。もう少し自分自身納得できる実力がついてから、生産量を増やすために栽培面積を拡大したいと考えています。

しかし面積を増やすとなると1人での管理は難しくなります。そこで、雇用を入れて栽培管理面を任せ、自分は全体を管理する。そして、「自分が作ったアスパラガスのおいしさをわかってもらえる人をつかまえて、拡げたい。」いつになるかわかりませんが、できればそこまでやってみたい、と思っています。

### Good👍 成功のためのポイント

- ・「身近なところに先生となる農家を見つける」  
 次の仕事を農業にと思っていた時に父の知人であるアスパラガス農家の方を紹介してもらいました。立ち上げの時から今までこの方には何でもわからないことを聞いています。
- ・「初期投資は意外とかかる」  
 施設を建てるのに補助事業を活用しましたが、それ以外にも機械類や肥料など、いろいろなことに経費がかかりました。農業で収入が得られるまでには時間がかかるので事前の自己資金はできるだけ多く準備しておいた方がよい、と思いました。
- ・「自己管理は必要」  
 人に使われることは無くなり気は楽になりましたが、自分で考えて仕事を組み立てなければなりません。いつもアスパラガスのことを考えているので、寝ていても遊びに行っても急に天気が変わったりすれば気になってハウスに直行です。農業は天候に左右されるとはいえ、自分の責任でアスパラガスを育てなければならないと感じます。